

避難確保計画の作成手順

1 作成に当たっての注意事項

- ・今回作成対象となるのは「津波」の避難確保計画
- ・施設によっては、以前に「洪水」又は「土砂」の避難確保計画を作成いただいております。
- ・避難勧告の廃止・避難情報の一本化などの制度変更や、近年の災害発生状況を考慮し、令和3年度末に国の作成様式が一部変更・追加となっております。
- ・今回の「津波」の避難確保計画作成の際に、「洪水」及び「土砂」についても、作成内容や様式に合わせた見直しを行ってください。
- ・様式は施設種別（病院・学校・福祉施設）のみで分かれており、災害種別（津波・洪水・土砂）では分かれていません。
- ・次ページ以降の吹き出しに記載している注意書きについては以下のとおりです。



新様式にて「津波」の計画を作成する方向けの注意書き



既に旧様式等にて「洪水」又は「土砂」の計画を作成済の方向けの注意書き

避難確保計画の作成手順

2 計画の様式を掲載している国土交通省のHPにアクセス

URL : <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>
(「国土交通省 要配慮者利用施設の浸水対策」で検索)



メニュー	自衛水防(企業防災) トップ	地下空間の 浸水対策	要配慮者利用施設の 浸水対策	工場・事務所等の 浸水対策	災害情報普及 支援室一覧
------	-------------------	---------------	-------------------	------------------	-----------------

要配慮者利用施設の浸水対策

浸水が想定される地域における社会福祉施設、学校、医療施設等の要配慮者利用施設では、洪水時における円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難確保計画等の作成など、水害に備えた対応が必要となります。ここでは、要配慮者利用施設の避難確保計画作成に役立つ情報を紹介しています。

お知らせ

令和3年5月に災害対策基本法が改正され、避難勧告と避難指示が避難指示へ一本化されました。これに伴い、手引き等に記載されている「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」は「警戒レベル3 高齢者等避難」に、「警戒レベル4 避難勧告、避難指示(緊急)」は「警戒レベル4 避難指示」に、「警戒レベル5 災害発生情報」は「警戒レベル5 緊急安全確保」に読み替えていただきますようお願いします。

避難確保計画の作成手順

3 同ページで様式をダウンロード

URL : <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>

避難確保計画の作成・活用の手引き・様式等

- 避難確保計画の作成・活用の手引き(令和4年3月)([PDF:5.4MB](#))
- 様式編
 - 社会福祉施設 ([XLSX : 1.7MB](#))
 - 学校 ([XLSX : 1.8MB](#))
 - 医療施設 ([XLSX : 1.8MB](#))
- 記載例
 - 社会福祉施設 ([PDF:4.2MB](#))
 - 学校 ([PDF:7.6MB](#))
 - 医療施設 ([PDF : 7.8MB](#))
- 避難訓練実施報告書(様式例)
 - 社会福祉施設([WORD:40KB](#))
 - 学校 ([WORD:40KB](#))
 - 医療施設 ([WORD:41KB](#))
- 避難確保計画チェックリスト
 - 社会福祉施設の避難確保計画(非常災害対策計画を含む)チェックリスト ([WORD:27.6KB](#))
 - 医療施設における避難確保計画チェックリスト ([WORD:28.5KB](#))
- 動画
 - 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・確認のポイント(約18分) ([YouTube](#)) **NEW**

● [過去の手引きはこちら](#)

貴施設の種別に合わせて
ダウンロードする様式を選択
してください。

避難確保計画の作成手順

4 「対象災害選択シート」で「津波」を選択

入力項目	入力セル	入力例
(対象災害)		
洪水	<input type="checkbox"/>	○：対象、×：対象外
雨水出水	<input type="checkbox"/>	○：対象、×：対象外
高潮	<input type="checkbox"/>	○：対象、×：対象外
津波	<input type="checkbox"/>	○：対象、×：対象外
土砂災害	<input type="checkbox"/>	○：対象、×：対象外
(自衛水防組織)		
自衛水防組織	<input type="checkbox"/>	○：有り、×：無し

※既に「洪水」又は「土砂」の避難確保計画にて作成済の施設は、以前の回答内容を転記してください。

入力項目	入力セル
(対象災害)	
洪水	<input type="checkbox"/>
雨水出水	<input type="checkbox"/>
高潮	<input type="checkbox"/>
津波	<input type="radio"/>
土砂災害	<input type="checkbox"/>
(自衛水防組織)	
自衛水防組織	<input type="checkbox"/>

津波の欄について、ドロップダウンで「○」を選択

避難確保計画の作成手順

5 「作業シート」で施設名等を入力

右側の記載例を参考に、左側の様式に入力（※以降のページも同様）

	記載例
<p>社会福祉施設 避難確保計画</p> <p>対象災害：水害（津波）</p> <p>【施設名： <input type="text"/>】</p> <p><input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月作成</p>	<p>社会福祉施設 避難確保計画</p> <p>対象災害：水害（洪水 雨水出水 高潮 津波） 土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）</p> <p>【施設名： <input type="text" value="〇〇〇〇ホーム"/>】</p> <p>2022 年 4 月作成</p> <p><small>このエクセルファイルの使い方 作業シートの必要な項目を記入してください。 記入する場所は桃色の空欄で示しています。 様式2は対象となる災害のみ記入してください。 自衛水防組織を設置する場合と設置しない場合があるので、目次を参考に作成してください。 記入が終わったら、不要な行を削除してください。</small></p>

先程選択した「対象災害」が
自動で反映されます。

避難確保計画の作成手順

7 「様式1」の入力について

右側の記載例の表をコピーし、左側の様式に貼り付け

様式 1

記載例
様式 1

1 計画の目的

1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の洪水時・雨水出水時・高潮時・津波の発生時・土砂災害の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。
また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水・雨水出水・高潮・津波・土砂災害に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法：水防法、津波防災地域づくりに関する法律、土砂災害防止法

関連法：

2 施設の概要

利用形態	通所	入所	建物の階数	2	階
------	----	----	-------	---	---

※利用形態を記載
※入所には、長期・短期が分かるように記載

※建物の階数を記載

2 施設の概要

利用形態	通所	入所	建物の階数	2	階
------	----	----	-------	---	---

※利用形態を記載
※入所には、長期・短期が分かるように記載

※建物の階数を記載

・「2 施設の概要」、「3 施設が有する災害リスク」は新規項目
・その他は以前の作成内容を転記してください。

施設の人数

	平日				休日			
	利用者		施設職員		利用者		施設職員	
昼間	約	名	約	名	約	名	約	名
夜間	約	名	約	名	約	名	約	名

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)
※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載
※夜間は入所部門の人数を記載

施設の人数

	平日				休日			
	利用者		施設職員		利用者		施設職員	
昼間	約	27(うち通所利用者9)	名	約	9	名	約	
夜間	約	9	名	約	2	名	約	

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)
※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載
※夜間は入所部門の人数を記載

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)	□該当なし	□該当	最大浸水深
洪水浸水想定区域(洪水)			浸水継続時間
			家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無
			□該当 □該当なし
雨水出水浸水想定区域(雨水出水)			浸水継続時間
高潮浸水想定区域(高潮)			浸水継続時間
津波災害警戒区域(津波)			基準水位
			最大浸水深
			津波到達時間

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)	□該当なし	☑該当	最大浸水深
洪水浸水想定区域(洪水)			0.5m~3m
			浸水継続時間
			1日~3日未満
			家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無
			☑該当 □該当なし
雨水出水浸水想定区域(雨水出水)			0.5m~1m
			浸水継続時間
			12時間~1日未満
高潮浸水想定区域(高潮)			0.5m~3m
			浸水継続時間
			1日~3日未満
津波災害警戒区域(津波)			基準水位
			2m
			最大浸水深
			津波到達時間
			50分

「津波災害警戒区域(津波)」の欄に入力

※津波の基準水位・・・「津波災害警戒区域」参照
最大浸水深・到達時間・・・「高知県防災マップ」参照

避難確保計画の作成手順

8-1 基準水位の確認方法について

高知県南海トラフ地震対策課HPの「津波災害警戒区域位置図及び区域図」

(URL: <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/2022010900031.html>)にアクセス

高知市「防災情報」公式Twitter

災害緊急情報

- 避難情報
- 避難所開設情報
- 被害情報
- 警報・注意報
- 道路交通情報
- ライフライン情報

事前の備え

- 避難所・避難場所
- ハザードマップ
- 自主防災組織関係
- 地震関係
- 風水害関係

各種計画・マニュアル

- 各種計画・マニュアル

地震・津波ハザードマップ

印刷ページ表示

平成24年12月に県より公表された、「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測」を基に、高知市において発生するおそれがある揺れの大きさや、津波による浸水深・範囲を示した、「高知市地震・津波ハザードマップ」を作成いたしました。地域やご家庭において、日ごろからの備えにお役立て下さい。

高知市地震ハザードマップ (表面)

最大クラスの南海トラフ地震が発生したときに予想される揺れの強さについて示しています。

[高知市地震ハザードマップ](#) [PDFファイル/3.53MB]

高知市津波ハザードマップ (裏面)

最大クラスの南海トラフ地震が発生したときに予想される浸水深・範囲について示しています。

[高知市津波ハザードマップ](#) [PDFファイル/3.66MB]

津波災害警戒区域 (イエローゾーン)

[津波災害警戒区域 \(イエローゾーン\) の指定について \(高知県ホームページ\)](#)

※ 津波災害特別警戒区域 (オレンジゾーン) は現在のところ指定されていません。

【閲覧先】

高知市防災政策課TOPページ→ハザードマップ→地震・津波ハザードマップ→津波災害警戒区域(イエローゾーン)の指定について(高知県南海トラフ地震対策課HP)

津波災害警戒区域等の指定 (令和4年3月25日)

高知県の津波災害警戒区域 (イエローゾーン) の指定状況は以下のとおりです。津波災害特別警戒区域 (オレンジゾーン) は指定していません。

市町村名	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、町、黒潮町
指定日	令和4年3月25日
指定区域	津波災害警戒区域位置図及び区域図のとおり

[津波災害警戒区域位置図及び区域図 \(こちらをクリックすることでご覧いただくことができます。\)](#)

津波災害警戒区域位置図及び区域図は、上記リンクよりご覧いただくことができます。なお、高知県危機管理部南海トラフ地震対策課において市、高置図及び区域図をご覧いただくことができます。また、高知市並びに室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南町、安田町、芸西村、中土佐町、四万十町、大月町及び黒潮町では、当該市町村の津波災害警戒区域位置図及び区域図をご覧いただくことができます。

避難確保計画の作成手順

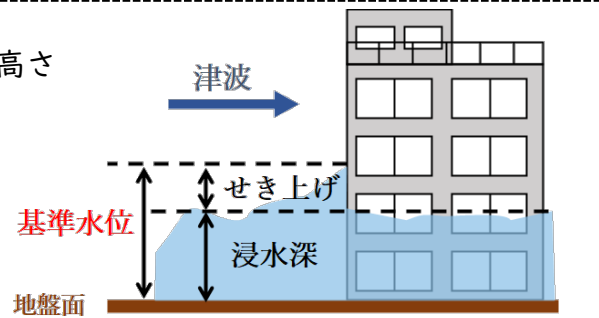
8-2 基準水位の確認方法について

<基準水位>

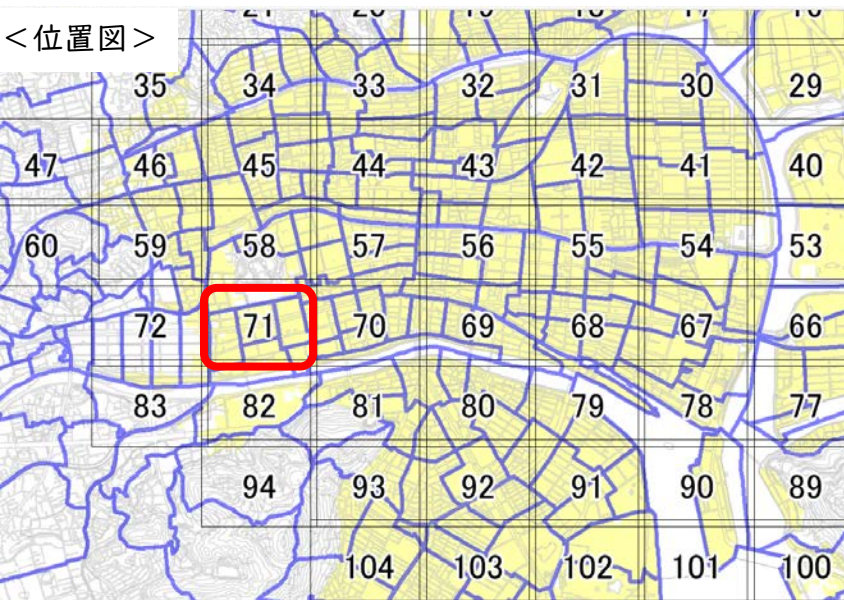
津波浸水想定での浸水深に津波が建物等に衝突した際のせり上がりの高さ（せき上げ）を加えた水位。

基準水位は、津波から避難するうえで有効な高さを想定している。

既存の避難場所は、これまでどおり使用することができる。

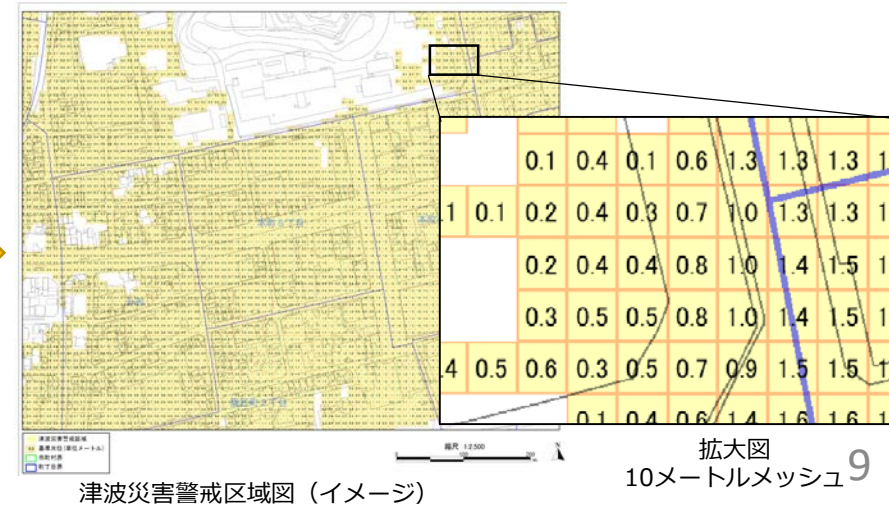


「位置図」で施設の大まかな位置（番号）を捉え、該当番号の「区域図」にて基準水位を確認



高知市 (64)[PDF : 1MB]	高知市 (65)[PDF : 1MB]
高知市 (71)[PDF : 1MB]	高知市 (72)[PDF : 926KB]
高知市 (78)[PDF : 1MB]	高知市 (79)[PDF : 1MB]

<区域図>



避難確保計画の作成手順

9-1 津波の最大浸水深・到達時間の確認方法について

高知県防災マップ(URL: <https://bousaimap.pref.kochi.lg.jp/>)にアクセスし、調べたいエリアを選択

The screenshot shows the homepage of the Kochi Prefecture Disaster Map website. At the top, there is a navigation bar with four tabs: 'ホーム' (Home), 'ハザードマップ' (Hazard Map), '高知家の防災マップ' (Kochi Family Disaster Map), and '防災学習' (Disaster Learning). Below the navigation bar is a banner with a family illustration and the text: 'このホームページは、あなたの住む場所にどんな危険が潜んでいるかを知るために提供しています。' (This homepage is provided to help you know what dangers are hidden in your living area). Below the banner are three main content areas: 'ハザードマップ' (Hazard Map) with a list of disaster types like '地震' (Earthquake), '津波' (Tsunami), and '洪水・土砂災害' (Flood/Landslide); '高知家の防災マップ' (Kochi Family Disaster Map) with a search bar and a map; and '防災学習' (Disaster Learning) with a list of educational resources.

住所を入力 もしくは 高知市を選択

住所から検索して防災マップを見る

高知市本町5丁目1-45

検索

場所を選んで防災マップを見る



避難確保計画の作成手順

9-2 津波の最大浸水深・到達時間の確認方法について 最下層までスクロールし、「同意する」をクリック

ご利用上の注意

高知県防災マップは、インターネットを通じて高知県の防災地図情報を提供するものです。ご利用にあたっては、以下の利用条件をご確認下さい。

<防災マップについて>

- 各種防災マップは、一定の条件のもとで作成したものであり、実際に災害が発生した状況とは異なる場合があります。
- 高知県防災マップで表示される地図画像は参考図ですので、各主題の内容を証明するものではありません。また、権利及び義務に関わる事項の資料とすることはできません。
- 各地図の詳細な内容やご不明な点については各担当課へお問い合わせください。



高知県 危機管理部 危機管理・防災課

住所：高知市丸ノ内一丁目2-20

電話：088-823-9311

FAX：088-823-9253

メール：010101@ken.pref.kochi.lg.jp

※各地図の詳細な内容やご不明な点については各担当課へお問い合わせください。

同意する

同意しない

避難確保計画の作成手順

9-3 津波の最大浸水深・到達時間の確認方法について

The screenshot displays the Kochi Prefecture Disaster Map interface. The main map shows a simulation of tsunami inundation with various colored zones representing different maximum water depths. The legend on the left side of the map is as follows:

浸水深	色
20.0m以上	紫
15.0~20.0m	赤
10.0~15.0m	桃
5.0~10.0m	オレンジ
3.0~5.0m	黄
2.0~3.0m	緑
1.0~2.0m	黄緑
0.3~1.0m	青
0.0~0.3m	水色

The map also includes a search bar at the top with the input "高知市丸ノ内1丁目2番20号", a navigation panel on the left, and a scale bar at the bottom. The current zoom level is 1/20,000.

避難確保計画の作成手順

9-4 津波の最大浸水深・到達時間の確認方法について

●最大浸水深の確認方法

1

地震

洪水土砂災害

津波浸水予測図

情報を切り替えて確認しましょう

2

津波浸水予測図

津波浸水予測時間図

津波痕跡図

津波浸水深変化図

液状化可能性予測図

震度分布

3

想定条件選択

最大クラスの地震

発生頻度の高い地震

①地震
②津波浸水予測図
③最大クラスの地震
を選択し、調べたいエリアにカーソルを合わせる



津波浸水想定区域



最大浸水深は「0.3m」

避難確保計画の作成手順

9-5 津波の最大浸水深・到達時間の確認方法について

●津波到達時間の確認方法

1

地震

洪水土砂災害

津波浸水予測時間図

情報を切り替えて確認しましょう

津波浸水予測図

2

津波浸水予測時間図

津波痕跡図

津波浸水深変化図

液状化可能性予測図

震度分布

3

想定条件選択

最大クラスの地震

発生頻度の高い地震

①地震
②津波浸水予測時間図
③最大クラスの地震
を選択し、調べたいエリアにカーソルを合わせる



津波到達時間

到達時間60分以上

到達時間40～60分

到達時間30～40分

到達時間20～30分

到達時間10～20分

到達時間5～10分

到達時間0～5分

到達時間は「60分以上」

避難確保計画の作成手順

10 「様式2」(洪水・土砂)の入力について

津波到達時における警戒レベルごとの組織編成と役割分担について入力

警戒レベル1・・・新規項目
警戒レベル2～4・・・転記可

※令和3年5月20日に避難情報
が変更されているため、過去に
作成した計画を見直す際は
ご注意ください。

※「総括指揮者」、「情報連絡
班」などの用語の定義については、
「要配慮者利用施設における
避難確保計画の作成・活用の
手引き」(最終頁にURL等参考
情報を記載)参照

洪水または雨水出水 様式2 4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮 責任者		情報連絡班 ※情報収集や伝達 責任者		避難誘導班 ※利用者の避難支援 責任者		装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備 責任者	
	人数	名	人数	名	人数	名	人数	名
警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階								
警戒レベル2 ↓ 注意体制								
警戒レベル3 ↓ 警戒体制								
警戒レベル4 ↓ 非常体制								

防災体制一覧表 → 様式12

警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・警報級の可能性(大雨警報または暴風警報)「中」または「高」が発表された場合 ・台風の接近が予想されている場合
警戒レベル2 ↓	・大雨または洪水注意報が発表された場合 ・●●川氾濫注意情報が発表された場合

洪水または雨水出水 記載例 様式2 4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮 責任者		情報連絡班 ※情報収集や伝達 責任者		避難誘導班 ※利用者の避難支援 責任者		装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備 責任者	
	人数	名	人数	名	人数	名	人数	名
警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	1	名	1	名	10	名	1	名
警戒レベル2 ↓ 注意体制	1	名	1	名	15	名	2	名
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	1	名	1	名	16	名	1	名
警戒レベル4 ↓ 非常体制								

防災体制一覧表 → 様式12

警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・警報級の可能性(大雨警報または暴風警報)「中」または「高」が発表された場合 ・台風の接近が予想されている場合
警戒レベル2 ↓	・大雨または洪水注意報が発表された場合 ・●●川氾濫注意情報が発表された場合

避難確保計画の作成手順

11-2 「様式2」 (津波) の入力について

遠地(日本から遠く離れた国)で地震が発生した際の、警戒レベルごとの組織編成と役割分担について入力

津波到達時間が長い場合

様式2

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮		情報連絡班 ※情報収集や伝達		避難誘導班 ※利用者の避難支援		装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備	
	責任者	人数	責任者	人数	責任者	人数	責任者	人数
警戒レベル2 ↓ 注意体制								
警戒レベル3 ↓ 警戒体制								
警戒レベル4 ↓ 非常体制								

防災体制一覧表 ⇒様式12

警戒レベル2 ↓ 注意体制	・「遠地地震に関する情報」の中で津波の到達予想時刻等の情報が発表された場合
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・高齢者等避難が発令された場合 ・津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合 ・避難指示が発令された場合

我が国から遠く離れた場所が発生した地震に伴う津波のように到達までに相当の時間があるものについては、気象庁が、津波警報等が発表される前から津波の到達予想時刻等の情報を「遠地地震に関する情報」の中で発表する場合があります。
市町村は、この「遠地地震に関する情報」の後に津波警報等が発表される可能性あることを認識し、津波警報等の発表前であっても、必要に応じて高齢者等避難の発令を検討するものとなっている。
施設利用者の人数や特性等から、施設利用者の避難完了に多くの時間を要する場合には、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

津波到達時間が長い場合

記載例
様式2

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮		情報連絡班 ※情報収集や伝達		避難誘導班 ※利用者の避難支援		装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備	
	責任者	人数	責任者	人数	責任者	人数	責任者	人数
警戒レベル2 ↓ 注意体制	〇〇	1名	〇〇	1名	〇〇	10名	〇〇	1名
警戒レベル3 ↓ 警戒体制		1名		1名		15名		2名
警戒レベル4 ↓ 非常体制		1名		1名		16名		1名

防災体制一覧表 ⇒様式12

警戒レベル2 ↓ 注意体制	・「遠地地震に関する情報」の中で津波の到達予想時刻等の情報が発表された場合
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・高齢者等避難が発令された場合 ・津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合 ・避難指示が発令された場合

我が国から遠く離れた場所が発生した地震に伴う津波のように到達までに相当の時間があるものについては、気象庁が、津波警報等が発表される前から津波の到達予想時刻等の情報を「遠地地震に関する情報」の中で発表する場合があります。
市町村は、この「遠地地震に関する情報」の後に津波警報等が発表される可能性あることを認識し、津波警報等の発表前であっても、必要に応じて高齢者等避難の発令を検討するものとなっている。
施設利用者の人数や特性等から、施設利用者の避難完了に多くの時間を要する場合には、気象庁の津波警報等の発表や市町村からの避難指示の発令を待たずに、自主的かつ速やかに避難行動をとることが必要である。

避難確保計画の作成手順

12-1 「様式3」の入力について

災害情報の収集手段を災害種別ごとに入力

「共通の情報」・・・転記可

「津波」(必要に応じ「洪水」,
「土砂」も含め)欄をコピー

5 情報収集・伝達 (1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集すべき情報	入手先
【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	
【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	
【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難場所の開設状況 道路の通行止め情報	

様式3

5 情報収集・伝達 (1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。
災害リスクに応じて、下記の表をコピーして使用してください。

収集すべき情報	入手先
【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ、市町村のメール通知サービス等
【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	・テレビ、ラジオ ・市町村のHP ・市町村のメール通知サービス ・緊急速報メール 等
【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難場所の開設状況 道路の通行止め情報	・テレビ、ラジオ ・市町村のHP ・市町村へ電話問い合わせ 等 日本道路状況情報(道路のHP) 等
洪水 ・洪水注意情報、洪水警報 ・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布) ・洪水予報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・気象庁HP
高水 ・大雨注意情報、氾濫警戒情報 ・氾濫危険情報、氾濫発生情報	・川の防災情報のHP ・川の防災情報のHP
高潮 ・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・雨水出水氾濫危険情報 (水位周知下水道において発表される情報) ・高潮注意報、高潮警報、高潮特別警報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・都道府県・市町村のHP ・市町村のメール通知サービス 等 ・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ ・市町村のメール通知サービス 等
津波 ・津波注意報、津波警報、大津波警報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ ・市町村のメール通知サービス 等
土砂災害 ・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・土砂災害警戒情報 ・土砂去来クル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・テレビ、ラジオ、気象庁HP、都道府県のHP ・気象庁HP

記載例
様式3

5 情報収集・伝達 (1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集すべき情報	入手先
【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	
【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	
【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難場所の開設状況 道路の通行止め情報	
津波 ・津波注意報、津波警報、大津波警報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ ・市町村のメール通知サービス 等

津波についても別途入力必要

「共通の情報」欄の下に
貼り付けし、適宜文言修正

避難確保計画の作成手順

12-2 「様式3」の入力について

災害情報の伝達手段を警戒レベルごとに入力

(2) 情報伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル1					
警戒レベル2					
警戒レベル3					
警戒レベル4					

New!

施設の職員同士、施設利用者の親族、避難先の避難支援協力者などへの情報伝達手段・内容について、警戒レベルごとに入力してください。

利用者緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式8
 緊急連絡網 ⇒ 様式9
 外部機関等の緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式10

(2) 情報伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル1	早期注意情報	インターネット(気象庁HP)	大雨の警戒級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。	情報連絡班	施設職員
	事前休業のお知らせ	統括指揮者の判断を確認	〇〇日は、大雨が予想されていますので、施設を休業することになりました。	情報連絡班	施設利用者の家族
警戒レベル2	職員への招集連絡	統括指揮者の判断を確認	大雨注意報が発表されましたので施設に参集してください。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	洪水注意報	インターネット(気象庁HP)	洪水注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫注意情報	インターネット(川の防災情報)	〇〇川に氾濫注意情報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル3	大雨注意報	インターネット(気象庁HP)	大雨注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	高齢者等避難	市役所からの電話	高齢者等避難が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難先の開設情報	市役所へ電話	避難先の〇〇は開設されています。	情報連絡班	避難誘導班
	避難開始の連絡	避難誘導班に確認	〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を開始しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
警戒レベル4	洪水警報	インターネット(気象庁HP)	洪水警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫警戒情報	インターネット(川の防災情報)	〇〇川に氾濫警戒情報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	大雨警報	インターネット(気象庁HP)	大雨警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル4	避難指示	市役所からの電話	避難指示が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難完了の連絡	避難誘導班に確認	〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を完了しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	氾濫危険情報	インターネット(川の防災情報)	〇〇川に氾濫危険情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	土砂災害警戒情報	インターネット(気象庁HP)	土砂災害警戒情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者

利用者緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式8
 緊急連絡網 ⇒ 様式9
 外部機関等の緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式10

避難確保計画の作成手順

13 「様式4」の入力について

津波からの避難先・移動距離・避難方法について入力

6 避難誘導 (1) 避難先、移動距離及び避難方法 様式4 6 避難誘導 (1) 避難先、移動距離及び避難方法 記載例 様式4

①原則、施設利用者の適切な支援を提供できるA会(系列グループホーム)に立退き避難をする。
②避難する時間が確保できない場合は、指定緊急避難場所に立退き避難をする。

洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	A会(系列グループホーム)	1,000 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	1時間	警戒レベル3 高齢者等避難
指定緊急避難場所	B小学校(校舎2階以上)	500 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	45分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所	〇〇ビル	200 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	30分	警戒レベル3 高齢者等避難
屋内安全確保	本施設2階〇〇室	50 m			エレベーター、車椅子、ストレッチャー	15分	警戒レベル3 高齢者等避難

雨水出水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

雨水出水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	A会(系列グループホーム)	1,000 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	1時間	警戒レベル3 高齢者等避難
指定緊急避難場所	B小学校(校舎2階以上)	500 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	45分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所	〇〇ビル	200 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	30分	警戒レベル3 高齢者等避難
屋内安全確保	本施設2階〇〇室	50 m			エレベーター、車椅子、ストレッチャー	15分	警戒レベル3 高齢者等避難

高潮	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

高潮	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	A会(系列グループホーム)	1,000 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	1時間	警戒レベル3 高齢者等避難
指定緊急避難場所	B小学校(校舎2階以上)	500 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	45分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所	〇〇ビル	200 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	30分	警戒レベル3 高齢者等避難
屋内安全確保	本施設2階〇〇室	50 m			エレベーター、車椅子、ストレッチャー	15分	警戒レベル3 高齢者等避難

津波	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		

津波	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	A会(系列グループホーム)	1,000 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 台 車椅子	2時間	強い地震発生 津波注意報など
指定緊急避難場所	B小学校(校舎2階以上)	500 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 台 車椅子	1時間	強い地震発生 津波注意報など
近隣の安全な場所	〇〇ビル	200 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 台 車椅子	40分	強い地震発生 津波注意報など

土砂災害	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		

土砂災害	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	A会(系列グループホーム)	1,000 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	1時間	警戒レベル3 高齢者等避難
指定緊急避難場所	〇中学校	650 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	45分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所	〇〇ビル	200 m	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	30分	警戒レベル3 高齢者等避難

・以前の様式から、災害種別ごとに作成する様式に変更
・作成内容自体は以前と変わらないため、「洪水」、「土砂災害」の項目は転記可

「津波」の欄に新規入力
※「指定緊急避難場所」の入力の際は、高知市防災政策課HPに掲載している「指定緊急避難場所一覧」及び地域防災推進課HPに掲載している「指定津波避難ビル一覧」を参考にしてください。(最終頁にURL等参考情報を記載)

様式1で入力した「津波到達時間」を考慮の上、避難場所を選定してください。

避難確保計画の作成手順

14 「様式5」の入力について

避難に必要な設備等を入力

7 避難に必要な設備の整備

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

様式5

分類	避難に必要な設備等	
	設備等	数量 設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	
	上下階の移動のできる大型スロープの設置	
	車椅子	
	その他()	
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	New!
	土のう	
	止水板	
	階段昇降機の設置	
	その他()	

7 避難に必要な設備の整備

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

記載例
様式5

分類	避難に必要な設備等	
	設備等	数量 設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	1 施設中央部(1~3階)
	上下階の移動のできる大型スロープの設置	0 -
	車椅子	10 各階の職員エリア
	その他(担架)	3 各階の職員エリア
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	1 2階機械室
	土のう	20 1階備品倉庫
	止水板	0 -
	階段昇降機の設置	3 1階備品倉庫
	その他(非常用サイレン)	3 屋上

現在施設で整備している設備等の数量・保存場所を入力
※記載例等を参考に、不足する資機材の購入も検討してください。

避難確保計画の作成手順

15 「様式5」の入力について

避難に必要な装備品や備蓄品について入力

8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ		
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末		
	電話やファックス		
	携帯電話やスマートフォン		
	電池や非常用電源		
避難誘導	名簿(施設利用者)		
	案内旗		
	ビブス		
	懐中電灯		
	ハンドマイク		New!
	雨具		
	ライフジャケットやヘルメット		
	避難ルートを示したマップ		
	救急用品		
	移動用の車両		
避難先	水や食糧		
	衛生用品や衣料品		
	電池や携帯充電器		
その他			

8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ	1	受付
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	10	受付、各階の職員エリア
	電話やファックス	5	受付、各階の職員エリア
	携帯電話やスマートフォン	10	各職員
	電池や非常用電源	1	2階機械室
避難誘導	名簿(施設利用者)	10	受付、各階の職員エリア
	案内旗	5	1階備品倉庫
	ビブス	30	1階備品倉庫
	懐中電灯	5	1階備品倉庫
	ハンドマイク	3	1階備品倉庫
	雨具	20	1階備品倉庫
	ライフジャケットやヘルメット	20	1階備品倉庫
	避難ルートを示したマップ	5	受付、各階の職員エリア
	救急用品	5	受付、各階の職員エリア
	移動用の車両	5	車庫
避難先	水や食糧	3日/人	1階備品倉庫
	衛生用品や衣料品	3日/人	1階備品倉庫
	電池や携帯充電器	10	1階備品倉庫
その他	防寒着・毛布	20	1階備品倉庫
	携帯トイレ	30	1階備品倉庫

現在施設で整備している装備品等の数量・保存場所を入力
※記載例等を参考に、不足する資機材の購入も検討してください。

※様式6～様式11は様式変更なし(転記可) 22

避難確保計画の作成手順

16 「様式12」の入力について 防災体制について入力

既に防災体制を確立している場合は、それを活用してもよい。

15 防災体制一覧表

様式12

統括指揮者 () (代行者)

情報連絡班	役割	担当者名
	責任者	
	・気象情報等収集	
	・施設職員への情報伝達	
	・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集	
	・施設職員や避難支援協力者へ連絡	
	・気象情報、水位情報、避難情報等の収集	
	・利用者家族等への連絡	
	・市町村等への連絡	
		人数()名

避難誘導班	役割	担当者名
	責任者	
	・避難誘導体制の確認	
	・避難ルートの確認	
	・避難誘導開始	
	・避難完了の確認	
	・避難先での利用者支援	
	・(緊急安全確保の誘導)	
		人数()名

装備品等準備班	役割	担当者名
	責任者	
	・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備	
	・移動用車両の手配	
	・要配慮者等の装備品の装着	
	・移動用車両の確保	
	・避難先への持ち出し品等を運搬	
	・避難先での持ち出し品等の管理	
		人数()名

既に防災体制を確立している場合は、それを活用してもよい。

15 防災体制一覧表

記載例
様式12

統括指揮者 (施設長) (代行者 事務長)

情報連絡班	役割	担当者名
	責任者	〇〇〇〇
	心構え 気象情報等収集	〇〇〇〇
	心構え 施設職員への情報伝達	〇〇〇〇
	注意 気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集	〇〇〇〇
	注意 施設職員や避難支援協力者へ連絡	〇〇〇〇
	警戒 気象情報、水位情報、避難情報等の収集	〇〇〇〇
	警戒 利用者家族等への連絡	〇〇〇〇
	非常 市町村等への連絡	〇〇〇〇
		人数(〇)名

避難誘導班	役割	担当者名
	責任者	
	注意 避難誘導体制の確認	
	注意 避難ルートの確認	
	警戒 避難誘導開始	
	非常 避難完了の確認	
	非常 避難先での利用者支援	
	非常 (緊急安全確保の誘導)	
		人数()名

装備品等準備班	役割	担当者名
	責任者	〇〇〇〇
	心構え 避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備	〇〇〇〇
	注意 移動用車両の手配	〇〇〇〇
	警戒 要配慮者等の装備品の装着	〇〇〇〇
	警戒 移動用車両の確保	〇〇〇〇
	警戒 避難先への持ち出し品等を運搬	〇〇〇〇
	非常 避難先での持ち出し品等の管理	〇〇〇〇
		人数(〇)名

「装備品等準備班」(用語については前述の手引き参照)を新規追加
・その他は転記可

避難確保計画の作成手順

17 「別紙1」の入力について

避難先までに避難経路について入力

別紙1

【避難先までの避難経路図】

	立退き避難					
	避難先1	避難に要する時間	避難先2	避難に要する時間	避難先3	避難に要する時間
洪水						
雨水出水						
高潮						
津波						
土砂災害						

New!

津波の欄に、「避難先」と「避難に要する時間」を入力

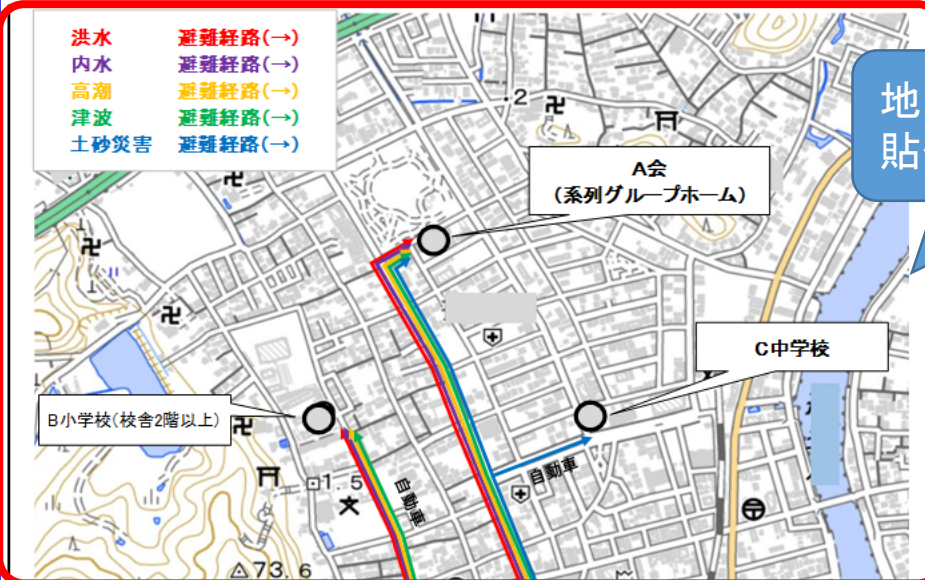
- ・「避難に要する時間」を新規追加
- ・その他は転記可

災害種別により避難場所・避難経路が変わらないか要注意！

【避難先までの避難経路図】

洪水時・雨水出水時・高潮時・津波の発生時・土砂災害の発生時の避難先、避難経路は以下のものとする。

	立退き避難					
	避難先1	避難に要する時間	避難先2	避難に要する時間	避難先3	避難に要する時間
洪水	A会(系列グループホーム)	1時間	B小学校(校舎2階以上)	45分	〇〇ビル	30分
雨水出水	A会(系列グループホーム)	1時間	B小学校(校舎2階以上)	45分	〇〇ビル	30分
高潮	A会(系列グループホーム)	1時間	B小学校(校舎2階以上)	45分	〇〇ビル	30分
津波	A会(系列グループホーム)	2時間	B小学校(校舎2階以上)	1時間	〇〇ビル	40分
土砂災害	A会(系列グループホーム)	1時間	C中学校	45分	〇〇ビル	30分



地図アプリの経路図等を貼付けしたのも可

記載例
別紙1

避難確保計画の作成手順

18 「別紙2」の入力について

施設内における避難経路について入力

New!

別紙2

【施設建物内の避難経路図】

	屋内安全確保	避難に要する時間
洪水		
雨水出水		
高潮		

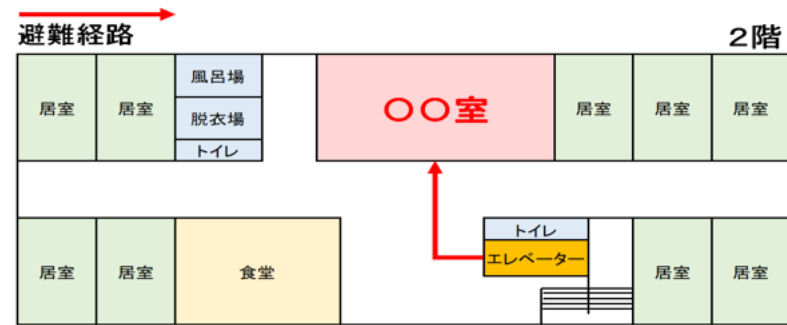
津波災害時における屋内安全確保については、指定の避難所や津波避難ビル・タワーを除き、津波による建物倒壊のおそれがあるため推奨していません。(そのため入力項目もありません)

記載例
別紙2

【施設建物内の避難経路図】

洪水時・雨水出水時・高潮時・土砂災害の発生時の施設建物内の避難経路は以下のものとする。

	屋内安全確保	避難に要する時間
洪水	本施設2階〇〇室	15分
雨水出水	本施設2階〇〇室	15分
高潮	本施設2階〇〇室	15分



避難確保計画の作成手順

19 「別紙3」の入力について

各班体制における必要な行動について、災害レベルごとに入力

New!

別紙3

記載例
別紙3

ご自身の施設における避難に必要な行動を時系列順に整理したタイムラインを確認しましょう。

施設型タイムラインの設定	統括指揮者 ※全体を指揮	情報連絡班 ※情報収集や伝達	避難誘導班 ※利用者の避難支援	装備品等準備班 ※政府や避難業者の届出・準備
防災気象情報、避難情報				
■早期注意情報 (警報級の可能性) <small>警戒レベル1</small>				
■大雨注意報 <small>警戒レベル2</small> ■洪水注意報 ■高潮注意報				
■高齢者等避難 <small>警戒レベル3</small> ■洪水警報 ■氾濫警戒情報 ■高潮注意報 ■大雨警報(土砂災害)				
■避難指示 <small>警戒レベル4</small> ■氾濫危険情報 ■高潮警報 ■高潮特別警報 ■土砂災害警戒情報				
■緊急安全確保 <small>警戒レベル5</small> ■大雨特別警報 ■氾濫発生情報				

43 ページ

ご自身の施設における避難に必要な行動を時系列順に整理したタイムラインを確認しましょう。

施設型タイムラインの設定	統括指揮者 ※全体を指揮	情報連絡班 ※情報収集や伝達	避難誘導班 ※利用者の避難支援	装備品等準備班 ※政府や避難業者の届出・準備
防災気象情報、避難情報				
■早期注意情報 (警報級の可能性) <small>警戒レベル1</small>	・状況把握、指揮 ・体制確立の判断 ・事前休業の判断	・気象情報等収集 ・施設職員への情報伝達	・(避難誘導体制の確認) ・(避難ルートの確認)	・(避難に必要な設備や 装備品、備蓄品、避難先 への持ち出し品等を点検し 準備)
■大雨注意報 <small>警戒レベル2</small> ■洪水注意報 ■高潮注意報	・状況把握、指揮 ・施設職員等召集 ・(避難開始判断)	・気象情報、水位情報、 避難情報、避難先情報 等の収集 ・施設職員や避難支援 協力者へ連絡	・避難誘導体制の確認 ・避難ルートの確認 ・(避難誘導開始)	・避難に必要な設備や装 備品、備蓄品、避難先へ の持ち出し品等を点検し 準備 ・移動用車両の手配
■高齢者等避難 <small>警戒レベル3</small> ■洪水警報 ■氾濫警戒情報 ■高潮注意報 ■大雨警報(土砂災害)	・状況把握、指揮 ・避難開始判断	・気象情報、水位情報、 避難情報等の収集 ・利用者家族等への連絡 ・市町村等への連絡	・避難誘導開始	・要配慮者等の装備品 の装着 ・移動用車両の確保 ・避難先への持ち出し品 等を運搬
■避難指示 <small>警戒レベル4</small> ■氾濫危険情報 ■高潮警報 ■高潮特別警報 ■土砂災害警戒情報	・状況把握、指揮 ・避難先での利用者支援 の監督 ・(緊急安全確保の判断)	・市町村等への連絡	・避難完了の確認 ・避難先での利用者支援 ・(緊急安全確保の誘導)	・避難先での持ち出し品 等の管理
■緊急安全確保 <small>警戒レベル5</small> ■大雨特別警報 ■氾濫発生情報	・緊急安全確保			

44 ページ

避難確保計画の作成手順

20 参考情報について

計画作成に当たっての用語の確認及び必要情報の収集等については以下を参考にしてください。

国土交通省HP（計画作成の手引き）

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>

高知市防災政策課HP（緊急避難場所について）

<https://www.city.kochi.kochi.jp/site/bousai/hinanba-syo-hinansyo.html>

避難確保計画の作成・活用の手引き・様式等

- [避難確保計画の作成・活用の手引き\(令和4年3月\)\(PDF:5.4MB\)](#)
- 様式編
 - [社会福祉施設 \(XLSX:1.7MB\)](#)
 - [学校 \(XLSX:1.8MB\)](#)
 - [医療施設 \(XLSX:1.8MB\)](#)

指定緊急避難場所

災害（洪水や津波など）から命を守るため緊急的に避難するための施設や場所（公園、高台等）このうち市があらかじめ指定した施設や場所を「指定緊急避難場所」といいます。

「津波避難ビル」もこの緊急避難場所に該当します。

指定緊急避難場所一覧

 [指定緊急避難場所一覧（災害種別ごと） \[PDFファイル/282KB\]](#)

指定津波避難ビル一覧

[地域防災推進課ホームページ](#)